

スマイルまなづる 83号

真鶴町立まなづる小学校

令和2年度学校だより

12月15日発行

【文責 校長 浜口勝己】

【学校教育目標】「自分を大切に 仲間や学校を大切に 町を大切に」

～自立をめざし 自分のよさを生かし まちづくりに参加できる子の育成～

5年生：まなづるツアー体験学習に行きました

今年度は、新型コロナウイルス感染症予防のために、例年、5年生が実施していた宿泊体験学習の実施を中止しました。その宿泊体験学習に代わる活動として、11月13日（金）に「まなづるツアー体験学習」を実施しました。5年生児童自身が宿泊体験学習に代わる活動を考え、企画・立案し、関係機関に依頼もしていく中で、自分たちの思いと現実に行えることとのギャップを調整しながら、実施に移しました。

学習の目標は「グループでの活動を思いっきり楽しんで、真鶴をより知ろう！」です。児童の興味関心によって、「真鶴の歴史探検コース」「真鶴の美・芸術コース」「真鶴の海と魚コース」「真鶴の磯とお林コース」「真鶴の自然・植物コース」の5つのコースが設定され、日中はグループごとの活動が中心となりました。夜の時間帯にも活動したいという思いから、スタート時間を遅らせるなどの措置も取り、夕方からは、全員でレクリエーションや「夜の学校探検」「星空観察」「花火」を行いました。どの活動も充実した内容となり、真鶴に詳しくなりつつ、仲間との絆も深くなったようです。自分たちで多様な学習活動を企画し、体験・見学先にも交渉しながら見事に実現する…5年生児童の実行力に感心しました。

実施に当たり、見守りやお迎えなどを含め、保護者の方にもご協力をいただきました。体験・見学先の方々にもいろいろとご配慮いただきました。おかげさまで、5年生児童にとって思い出深い行事となり、この学習を通して「企画する力」や「調整する力」「協調性」など様々な力が身に付いたようです。上記の学校教育目標にも近づいたことと思います。ご協力いただきました皆様方に、心より感謝申し上げます。



キャンドルファイヤーを囲んで振り返り

まなづるツアー体験学習の感想(一部抜粋)

5年

まなづるツアーに行って一番思ったことは、真鶴町に住んでいてもこんなに知らなかったり、見たことがない所があったりするんだということです。

例えば、岩海岸のトンネルみたいな所です。その中に滝みたいなのがあって、ものすごくきれいでした。如来寺跡に行ったけど、入れませんでした。こわれたり、くずれたりするかもしれないので入れないようにしていました。残念だったです。近くにお墓みたいなのがあって、それをもっても気になりました。

行ったことで分かったこともいっぱいあるし、もっと知りたいこと、分からないことも出てきたので、それも知れたらいいなと思いました。

今日はすごく短い一日でした。とっても楽しくて、すてきな一日になって、思い出にもなったのでよかったです。

5年

まなづるツアーで、真鶴の行ったことがない所や、まだ知らないことを知ることができました。

海には、思った以上の生き物がいました。下を見たときは、たくさんの貝がありました。番場浦の溶岩は、一万年前の溶岩と、十五万年前の溶岩があり、それらを見くらべると、一万年前のものは、土の色が変わったような感じで、十五万年前のものは、かたくなっていました。

一番気になっていた小鳥の池は、水があまりたまっていなかったので、生き物が見えませんでした。

夜の学校は、いろいろな学校のことを知ることができました。

最後の花火は、みんなとしゃべったりしながらやりました。

6年生：日光修学旅行に行きました

12月1日（火）～2日（水）の1泊2日、6年生は日光修学旅行へ行きました。

新型コロナウイルスの関係で、県内でもいくつかの市町村が日光修学旅行中止の判断を出していましたが、箱根町と真鶴町では、次のような具体的な対応策を踏まえた上で実施の判断をしました。

- ① 修学旅行専用列車や奥日光の観光で利用するバスについては、隣同士で座ることなく、2席で1人が利用するなど密接を防ぐ。換気ができ、消毒された車両を利用。
- ② 旅館の部屋も、定員数（10人部屋）より少なめ（3～4人ずつ）の利用とする。
- ③ 旅館での食事は、パーティションで仕切りをし、真向かいに座らず交互に座る。入浴、買い物も、部屋ごとの少人数で行う
- ④ 2日目の昼食時も向き合わずに一方向だけを向いて座り、お弁当形式とする。
- ⑤ 真鶴駅から全行程を通して、看護師が同行する。

他にも、日頃から行っている検温をはじめとした健康チェック、マスクの着用、こまめな手指消毒などを行いました。「新しい生活様式」のもとでの旅行となりましたが、専用列車内では、ソーシャルディスタンスを意識しながらどのように楽しめるかを考え、班ごとに小さなホワイトボードを用意した上で様々なレクリエーションを行っていました。6年生児童の工夫に感心しました。

1日目は、奥日光にバスで出向き、華嚴の滝を見学しました。12月ということで、例年のハイキングは行わず、華嚴の滝を見学した後は足尾銅山を見学しました。

2日目は歩いて世界遺産の寺社巡りです。輪王寺、東照宮、二荒山神社、大猷院の順でまわりました。特に東照宮では、グループごとの自由行動となり、陽明門をはじめ、眠り猫、徳川家康のお墓、鳴き竜、三猿などを見学しました。



華嚴の滝



東照宮陽明門

日光修学旅行の感想(一部抜粋)

6年

日光修学旅行で一番心に残ったのは、日光東照宮です。

班のみんなでいろいろまわったりしてすごく楽しかったし、三猿は見たかったので見られてうれしかったです。鳴き龍では普通の音が反響して別の音に変わったのもすごく実感できたし、上にかいてあった龍はすごくはく力満点だったのでよかったです。徳川家康、豊臣秀吉、源頼朝がまつられている場所を見つけることができよかったですし、おみこしにまつられているのがすごくおどろきました。作家の人が想像で作った象は、象にすごくにているのでよかったです。陽明門はいろいろなちょうこくがいっぱいあり、人のちょうこくは一つ一つやっていることが違っていたのでよかったです。

修学旅行班でいろいろな所をまわって楽しかったし、いろいろなことを学んだりできてよかったです。いい思い出をつくれたのでよかったです。

6年

私は、足尾銅山と東照宮の日光山輪王寺、徳川家康のお墓が思い出に残りました。

足尾銅山では、坑道が千二百メートルありました。銅は江戸時代、手でほられていたことに昔の人ががんばってほっていたイメージが付きまして。そして、時代が変わるうちに手ぼりから機械、削岩機へと採掘の仕方が変わっていくのも伝わってきて、とてもおもしろかったです。

日光山輪王寺では、3人の仏様がとてもかっこよくて、すべて木でつくられていたとは思えないくらいキラキラしていました。

徳川家康のお墓は、石の段がたくさん積まれていて、他の建物とは少しふんい感じがちがっていてよかったです。

学級懇談会へのご出席、ありがとうございました。

12月11日（金）の学級懇談会には、ご多用の中、ご出席いただき、ありがとうございました。担任より、学級の2学期の様子と冬休みの過ごし方について、話をさせていただきました。お子様一人一人の様子については、23日（水）からの教育相談でお話をさせていただきます。希望制となっておりますが、ご出席についてよろしく願いいたします。